

## 小田貞利 議員



### コロナ禍、早急な経済対策を！

**問** コロナ禍に加え原油高で経済活動は疲弊しています。

**答** 国・県の経済支援は始まっていますが、本町でもタイムリーな支援を求めます。

### 具体的な支援を検討

**問** 町としての経済対策は急務であると認識しています。支援の早期実現に向けて、具体的な検討を進めています。



自治体新電力の設立で公共施設の電気代削減、エネルギーの地産地消・地域経済の循環を！

### 下水道事業の公平な施策を

**問** 下水道事業には、毎年4億円以上の一般財源が維持経費に充てられています。合併浄化槽設置世帯への維持経費補てんはありません。公平な施策を望みます。

### 助成について検討

**答** 合併処理浄化槽を使用している方に、不公平感があることは十分認識しており、維持管理の助成額・助成対象者等あわせて検討してまいりたい。

### 電力自由化に伴う町の対応は？

**問** 入札による電力会社の選択、町自体が発電会社になることで更なる経費削減が可能。積極的に進めるべきでは？

### 調査・研究を行い検討

**答** 高圧電力は、平成30年度から入札により電力会社を選択し削減を図っています。高圧電力以外についても契約を整理し、入札への変更を検討したい。

町自体の発電設備設置も、予算の削減につながるのであれば、調査・研究を行い、検討していきたい。

## 白鳥法子 議員



### 周防大島高校以外への通学支援は？

**問** 島高の生徒には、町民か否かに関わらず通学費助成制度があります。かなりの町民が他校に進学している実態がある中、通学先を問わず、町民への通学費助成制度があるべきと考えますが、町長のお考えは？

また、公共バスのダイヤは通学に不便な点があります。通学の視点からバス事業者に要望や提案をしたことはありますか？

### 通学費の支援は優先順位を考慮して

**答** 現在の支援は島高存続のため学校に対する支援で、生徒への支援が目的ではありません。新たな支援は財源が無いと難しく、優先順位を考える必要があります。通バス事業者に対し、通

学利用の視点から要望をしたこととはありません。来年度策定する地域公共交通計画では、そういった方々の意見も考慮したい。

### コロナ自宅療養者に寄り添って

**問** 第6波では、軽症・無症状者の自宅療養が行われています。社会福祉協議会の展開している高齢者や障がい者対象の「住民参加型有償サービス事業」を活用して、買い物代行サービスを自宅療養者に拡大し、利用料を町が負担するという仕組みづくりを町と社会福祉協議会で行えませんか？

### 社会福祉協議会と協議します

**答** 第7波も懸念される中、今後は独自の支援事業も必要と思っています。陽性となった人も安心して活用できる体制づくりが必要と考えるので、社会福祉協議会と協議します。

### 要望 頼れる親族などが近くにいない方も

います。どうぞ、誰一人取り残さない地域社会の実現に向けたコロナ対策の一つとして、ご検討いただきたい。

住民参加型有償サービス事業

**「たすけあい」**

「住み慣れた地域で、誰もが、安心して、豊かに暮らし続けられるまちづくり（福祉の輪づくり運動）」を促進して、会員制により実施しています。

こんな困りごと、お悩みにお応えしています

周防大島町社会福祉協議会の住民参加型有償サービス事業のチラシより